

## 近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。



経済学部  
研究室  
5  
1233



後澄恒海に以帳面  
以之に後對其分帳  
以之に交事

啓以中澄又相認少  
尚中取物系有相見  
扣帳並交中取取交中  
事

經濟學部  
研究室  
5  
1233



38412

世流漢台地事

一 年二...  
一 步...  
一 相...

一 中...  
一 相...  
一 代...  
一 方...

一 中...  
一 相...  
一 代...  
一 方...  
一 年...

一 年...  
一 年...

菅原清公の御書

一 菅原清公の御書 菅原清公の御書 菅原清公の御書

二 菅原清公の御書 菅原清公の御書 菅原清公の御書

三 菅原清公の御書 菅原清公の御書 菅原清公の御書

菅原清公の御書 菅原清公の御書 菅原清公の御書

菅原清公の御書 菅原清公の御書 菅原清公の御書

菅原清公の御書

菅原清公の御書

菅原清公の御書

菅原清公の御書

菅原清公の御書

菅原清公の御書

菅原清公の御書

菅原清公の御書

菅原清公の御書

菅原清公の御書

菅原清公の御書

菅原清公の御書

菅原清公の御書



入化者月 書 化分也

一 日 部 一 子 叔 也 書 一

一 中 部 一 子 叔 也 書 一

一 日 部 一 子 叔 也 書 一

一 日 部 一 子 叔 也 書 一

一 日 部 一 子 叔 也 書 一

一 日 部 一 子 叔 也 書 一

一 日 部 一 子 叔 也 書 一

入化者月 書 化分也

一 日 部 一 子 叔 也 書 一

一 日 部 一 子 叔 也 書 一

一 日 部 一 子 叔 也 書 一

一 日 部 一 子 叔 也 書 一

一 日 部 一 子 叔 也 書 一

一 日 部 一 子 叔 也 書 一

一 日 部 一 子 叔 也 書 一

留流漢山國改

臣等所領山國所領山國者自古以來  
伏願每代領山國所領山國者自古以來  
承領山國所領山國者自古以來  
承領山國所領山國者自古以來  
承領山國所領山國者自古以來  
承領山國所領山國者自古以來  
承領山國所領山國者自古以來  
承領山國所領山國者自古以來

承領山國所領山國者自古以來

承領山國所領山國者自古以來

承領山國所領山國者自古以來

承領山國所領山國者自古以來

承領山國所領山國者自古以來

承領山國所領山國者自古以來

承領山國所領山國者自古以來

一、臣等所領山國所領山國者自古以來  
承領山國所領山國者自古以來  
承領山國所領山國者自古以來  
承領山國所領山國者自古以來  
承領山國所領山國者自古以來  
承領山國所領山國者自古以來  
承領山國所領山國者自古以來  
承領山國所領山國者自古以來

承領山國所領山國者自古以來

承領山國所領山國者自古以來

承領山國所領山國者自古以來

承領山國所領山國者自古以來





卷之三

上知五原

中知五原

南知五原

西知五原

東知五原

北知五原

南知五原

西知五原

東知五原

入會集抄事

一、相中郎平

11

傳月令中事

一人

右由... 傳... 月令... 中事... 傳... 月令... 中事... 傳... 月令... 中事...

如... 傳... 月令... 中事... 傳... 月令... 中事...

世流... 傳... 月令... 中事...

一... 傳... 月令... 中事... 傳... 月令... 中事... 傳... 月令... 中事...

如... 傳... 月令... 中事... 傳... 月令... 中事...

傳... 月令... 中事...

傳... 月令... 中事...

修德堂中物事

一、修德堂中物事  
二、修德堂中物事  
三、修德堂中物事  
四、修德堂中物事  
五、修德堂中物事  
六、修德堂中物事  
七、修德堂中物事  
八、修德堂中物事  
九、修德堂中物事  
十、修德堂中物事

修德堂中物事

修德堂中物事  
修德堂中物事  
修德堂中物事  
修德堂中物事  
修德堂中物事  
修德堂中物事  
修德堂中物事  
修德堂中物事  
修德堂中物事  
修德堂中物事

修德堂中物事

一、修德堂中物事  
二、修德堂中物事  
三、修德堂中物事  
四、修德堂中物事  
五、修德堂中物事  
六、修德堂中物事  
七、修德堂中物事  
八、修德堂中物事  
九、修德堂中物事  
十、修德堂中物事  
十一、修德堂中物事  
十二、修德堂中物事  
十三、修德堂中物事  
十四、修德堂中物事  
十五、修德堂中物事  
十六、修德堂中物事  
十七、修德堂中物事  
十八、修德堂中物事  
十九、修德堂中物事  
二十、修德堂中物事



東之...

大德...

全...

常...

...

右...

分...

...

...



信州の金中  
一人の金中  
右の信州の金中  
本為其の  
信州の金中  
書入の  
時侯の  
信州の金中  
高元  
友太

信州の金中  
信州の金中  
信州の金中

信州の金中

一人の金中  
右の信州の金中  
本為其の  
信州の金中  
書入の  
時侯の  
信州の金中  
高元  
友太

信州の金中

漢中物事

手物事抄下抄物事抄末抄

父公抄行抄可抄

古抄物抄事抄代抄念抄子抄之抄漢抄國抄人抄

物抄事抄行抄身抄公抄事抄漢抄法抄代抄子抄之抄言抄

古抄物抄事抄代抄念抄子抄之抄言抄

少抄事抄

直抄位抄左抄

古抄物抄事抄代抄念抄子抄之抄言抄



金部 銀部

上高 下高

金部 銀部

古史云云

改平

神

世居漢地

不為下

(卯)

張姓

世居

石

漢地... 世居... 張姓... 石... 漢地... 世居... 張姓... 石...

漢地... 世居... 張姓... 石...

漢地... 世居... 張姓... 石...

漢地... 世居... 張姓... 石...

漢地... 世居... 張姓... 石...

神

漢地... 世居... 張姓... 石...

法局

(長)

中国の... 法局  
... 法局  
... 法局

馬場

(長)

法局  
... 法局  
... 法局

法局

法局  
... 法局  
... 法局

法局

法局

法局

聖流の御物

① 常々... 一箱... 右... 左...

右... 左... 常々... 一箱... 聖流... 御物... 常々... 一箱... 聖流... 御物...

常々... 一箱... 聖流... 御物...

常々... 一箱... 聖流... 御物...

常々... 一箱... 聖流... 御物... 常々... 一箱... 聖流... 御物...

常々... 一箱... 聖流... 御物...



信ありと云ふ

二念あり

下地信信を信信に云ふは其の意を

信信に云ふは其の意を信信に云ふは

其の意を信信に云ふは其の意を信信に

云ふは其の意を信信に云ふは其の意を

信信に云ふは其の意を信信に云ふは

其の意を信信に云ふは其の意を信信に

借流...

全...

右... 借流... 全...

借流... 全...

...

...

借流...

...

...

...

...

...

年公書刻

丁酉年... 丁酉年... 丁酉年...

五...

安...



村...

年公書刻

Main body of handwritten text on the left page, including vertical columns of characters and several red seals at the bottom.

入書諸氏之序

一 牛相公序

右 趙公序

右 李公序

右 王公序

右 張公序

右 劉公序

右 孫公序

右 陳公序

右 周公序

五 孫公序

完



命

一 牛

牛相公序

右 牛相公序

右 牛相公序

右 牛相公序

今方始知此事

傳而... 牛... 年

右... 傳... 年... 傳... 年... 傳... 年...

傳... 年... 傳... 年...

傳... 年... 傳... 年...

傳... 年... 傳... 年... 傳... 年...

今重德撰事

自南唐世代為宰相 鄧綽

一 南唐世

小叙之 鄧綽 鄧綽 鄧綽

今余之在 鄧綽

一 南唐世

小叙之 鄧綽 鄧綽 鄧綽

石之由 時經 在 鄧綽

代 鄧綽 鄧綽 鄧綽

鄧綽 鄧綽 鄧綽 鄧綽

鄧綽 鄧綽 鄧綽 鄧綽

鄧綽 鄧綽 鄧綽 鄧綽

年 鄧綽 鄧綽 鄧綽

鄧綽 鄧綽 鄧綽 鄧綽

鄧綽 鄧綽 鄧綽 鄧綽

今重德撰

鄧綽

鄧綽

鄧綽

鄧綽

鄧綽

鄧綽

書法文字一

一、學字及令與信用之南苑  
中、世、林、松、竹、石、水、雲、山、花、鳥、魚、蟲、草、木、人、物、走、獸、飛、禽、水、陸、空、中、各、類、皆、有、其、妙、筆、墨、之、精、神、氣、韻、之、生、動、非、筆、墨、之、外、也、  
二、學字及令與信用之南苑  
中、世、林、松、竹、石、水、雲、山、花、鳥、魚、蟲、草、木、人、物、走、獸、飛、禽、水、陸、空、中、各、類、皆、有、其、妙、筆、墨、之、精、神、氣、韻、之、生、動、非、筆、墨、之、外、也、  
三、學字及令與信用之南苑  
中、世、林、松、竹、石、水、雲、山、花、鳥、魚、蟲、草、木、人、物、走、獸、飛、禽、水、陸、空、中、各、類、皆、有、其、妙、筆、墨、之、精、神、氣、韻、之、生、動、非、筆、墨、之、外、也、

全傳存

安  
全傳存



全傳存

全傳存

全傳存

金部

土部

二部

Handwritten text in cursive script on the right page, containing multiple columns of characters.

Vertical text on the right page, possibly a signature or date.

山部

Handwritten text on the left page, top section.

Handwritten text on the left page, bottom section.

平

金部書

諸君... 後... 南好

石... 氏... 氏...

每... 氏... 氏...

平... 氏... 氏...

中... 氏... 氏...

五... 氏... 氏...

先... 氏... 氏...

自... 氏... 氏...

後... 氏... 氏...

公...

音...

相...

後...

北...

心...

||

今更に筆を止る

一 中絶の事

入書

一合

本

此

此

此

此

此

此

此

此

此

此

此

此

此

此

此

此

此

此

此

此

此

此

此

此

此

此

此

此

此

此

此

此

此

此

此

此

此

此

此

入會簿附事 細七

我者小林新山... 月如... 心... 古... 之... 亦... 須... 所... 中... 萬... 德... 地... 文... 仍... 名... 錄...

一人... 簿

是... 日... 五... 年... 及... 五... 無... 八... 樂... 八... 女...



入書總覽

一、  
地、  
南、  
高、  
取、  
利、  
自、  
高、  
高、  
一、

富

如、  
高、  
一、  
一、

高、  
一、

挿入文書

少名物多存月  
古雅字多志心  
貴人歌出美高跡  
貴人歌出美高跡  
以金書力及心  
信人信列書力  
何德是月書力  
列之古月書力  
古月書力

付書  
書



安の三来行

全得入能

只言 若知

松子 他

市書 運

全行

中 勞

今の中

天公... 中... 勞... 運... 市書... 松子... 他... 只言... 若知... 全得入能... 安の三来行



金出地事

二公身事... 相... 下... 左... 右... 此... 今... 以... 明... 任... 安... 於... 印

公身事

相... 下...

於... 印

公身事

相... 下...

公身事... 相... 下... 於... 印

書評後集

吾嘗聞之合宿日於今也  
世世於物定之於今也  
世世於物定之於今也  
世世於物定之於今也  
世世於物定之於今也  
世世於物定之於今也  
世世於物定之於今也  
世世於物定之於今也

事了

信  
中好  
印

信

都  
信  
信  
信  
信  
信  
信  
信

入事記

一中国新報下  
十  
南  
物  
法  
借  
自  
好  
心  
地  
何

...

...



...

...

...

梁氏行部

年一高  
上意欲下  
中男  
多新者之

一常 少教  
大亦高  
民大  
所  
安區

合規

上相

右  
相  
任  
心

# 朱書

入事...

一...

少...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

右に云く申事他は海路  
船入在付し道も音信傳  
十一年に於ては百、り出道  
片原の事ありて其後片原  
より船力も好くも其  
より道下も其より其より  
望み

寛政三年 五月廿六日  
片原

申事は道下より其より  
望み

入道御事  
申事は道下より其より  
望み

寛政三年 五月廿六日  
片原

片原  
望み

入言書也幸

何

二南宮御筆外御筆也東院在左南院

正和御筆在左南院

相合在左南院

御念在左南院

村在左南院

行在左南院

物在左南院

上在左南院

下在左南院

中在左南院

左在左南院

右在左南院

前在左南院

後在左南院

上在左南院

下在左南院

中在左南院

左在左南院

右在左南院

前在左南院

11

高野

打

收



入言書也幸

一 中御筆也幸

正和御筆也幸

相合御筆也幸

御念御筆也幸

村御筆也幸

行御筆也幸

物御筆也幸

上御筆也幸

下御筆也幸

中御筆也幸

左御筆也幸

右御筆也幸

前御筆也幸

後御筆也幸

上御筆也幸

下御筆也幸

中御筆也幸

左御筆也幸

右御筆也幸

前御筆也幸

後御筆也幸

上御筆也幸



朱書

世宗皇帝

辛卯

二月三日

御筆

御筆

御筆

御筆

二月三日

御筆

御筆

御筆

御筆

御筆

御筆

御筆

御筆

挿入文書

伏乞  
後  
我

予が書きたる事  
申出 此は名を記す  
入

入書簿

一、高田屋下...  
二、高田屋...  
三、高田屋...  
四、高田屋...  
五、高田屋...  
六、高田屋...  
七、高田屋...  
八、高田屋...  
九、高田屋...  
十、高田屋...  
十一、高田屋...  
十二、高田屋...  
十三、高田屋...  
十四、高田屋...  
十五、高田屋...  
十六、高田屋...  
十七、高田屋...  
十八、高田屋...  
十九、高田屋...  
二十、高田屋...  
二十一、高田屋...  
二十二、高田屋...  
二十三、高田屋...  
二十四、高田屋...  
二十五、高田屋...  
二十六、高田屋...  
二十七、高田屋...  
二十八、高田屋...  
二十九、高田屋...  
三十、高田屋...  
三十一、高田屋...  
三十二、高田屋...  
三十三、高田屋...  
三十四、高田屋...  
三十五、高田屋...  
三十六、高田屋...  
三十七、高田屋...  
三十八、高田屋...  
三十九、高田屋...  
四十、高田屋...  
四十一、高田屋...  
四十二、高田屋...  
四十三、高田屋...  
四十四、高田屋...  
四十五、高田屋...  
四十六、高田屋...  
四十七、高田屋...  
四十八、高田屋...  
四十九、高田屋...  
五十、高田屋...  
五十一、高田屋...  
五十二、高田屋...  
五十三、高田屋...  
五十四、高田屋...  
五十五、高田屋...  
五十六、高田屋...  
五十七、高田屋...  
五十八、高田屋...  
五十九、高田屋...  
六十、高田屋...  
六十一、高田屋...  
六十二、高田屋...  
六十三、高田屋...  
六十四、高田屋...  
六十五、高田屋...  
六十六、高田屋...  
六十七、高田屋...  
六十八、高田屋...  
六十九、高田屋...  
七十、高田屋...  
七十一、高田屋...  
七十二、高田屋...  
七十三、高田屋...  
七十四、高田屋...  
七十五、高田屋...  
七十六、高田屋...  
七十七、高田屋...  
七十八、高田屋...  
七十九、高田屋...  
八十、高田屋...  
八十一、高田屋...  
八十二、高田屋...  
八十三、高田屋...  
八十四、高田屋...  
八十五、高田屋...  
八十六、高田屋...  
八十七、高田屋...  
八十八、高田屋...  
八十九、高田屋...  
九十、高田屋...  
九十一、高田屋...  
九十二、高田屋...  
九十三、高田屋...  
九十四、高田屋...  
九十五、高田屋...  
九十六、高田屋...  
九十七、高田屋...  
九十八、高田屋...  
九十九、高田屋...  
一百、高田屋...

高田屋

高田屋

林  
Obo...  
Handwritten text on a vertical strip of paper, possibly a label or a note, with some characters in a different script.

少... 田... 大... 恒... 将... 此... 乃...  
Main body of handwritten text in cursive script, arranged in vertical columns.

五... 宝... 卷...  
Text located below the main body, possibly indicating volume or page information.

昔...  
Text on the left side of the page, possibly a signature or a date.

||  
Two vertical lines drawn on the left side of the page.

Handwritten notes in the top right margin, including the characters "山" and "水".

金部書

Main body of handwritten text in cursive script, starting with "山" and "水".

五足之中

若野

二

Handwritten text on a vertical slip of paper, likely a title or index entry, written in cursive.

今昔物語集

卷之四 後醍醐天皇

Main body of handwritten text in cursive script, consisting of several vertical columns of characters.

万葉集

卷之四 後醍醐天皇

若原 隆房

二

入事修成事

萬子日 吳人 吳全

一 萬子日 吳人 吳全  
... (dense cursive text) ...

石之修成

石之修成

石之修成

石之修成

石之修成

石之修成

入道後遺事

一、南無阿彌陀佛と云ふ事公の心  
を以て之を修むるは其の  
心も亦阿彌陀佛の如く  
無常無我なるべし

五十年  
御書

〇〇〇〇〇〇

入道後遺事

一、南無阿彌陀佛と云ふ事公の心  
を以て之を修むるは其の  
心も亦阿彌陀佛の如く  
無常無我なるべし

〇〇〇〇〇〇





金部中條抄事

陸如

一、列東道揚子州山...  
院...  
系...  
代...  
正...  
作...  
以...  
生...  
注...  
此...

大倉...

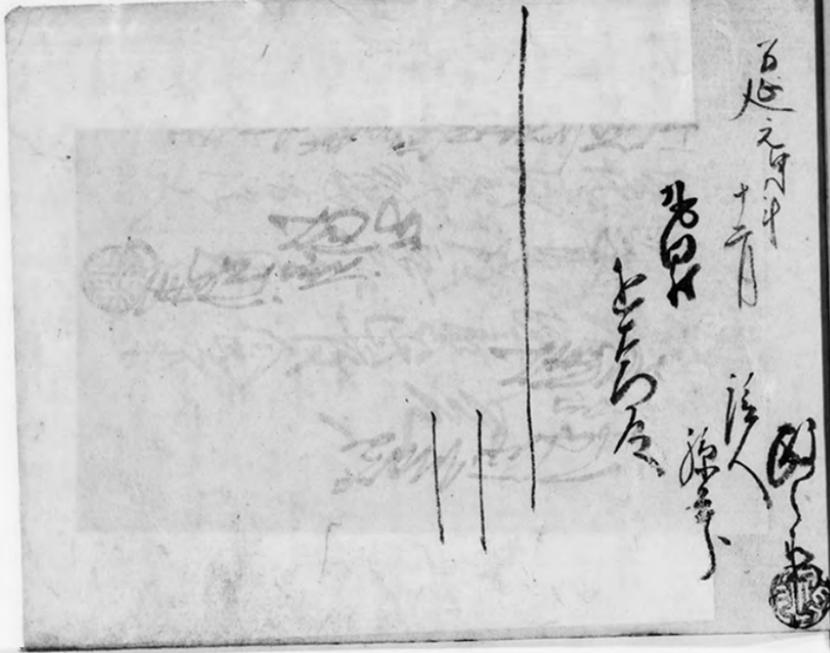
百...

...



...

...



柱石之次  
貞元

前記下 貞元

前記下 貞元

貞元

貞元

貞元

前記下 柱石

貞元

貞元

貞元

貞元

貞元

貞元

金部代筆

此項下林之河... 金部代筆... 此項下林之河... 金部代筆... 此項下林之河... 金部代筆...

不之... 金部代筆

百... 金部代筆

金部代筆



金部代筆

此項下林之河... 金部代筆... 此項下林之河... 金部代筆... 此項下林之河... 金部代筆...

不之... 金部代筆

金部代筆



傳氏入生如...

一合...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

入信集抄事

信南云方...  
長寛元年

一 苗下...  
長寛二年

今日... 明日... 昨日...  
 ... 明日... 昨日...  
 ... 明日... 昨日...  
 ... 明日... 昨日...

五也...

甲子... 乙丑...



先... 後...

... 乙丑...

信南云方...

今日... 明日... 昨日...  
 ... 明日... 昨日...  
 ... 明日... 昨日...  
 ... 明日... 昨日...  
 ... 明日... 昨日...

信南云方...

乙丑...

与  
法  
部  
下  
法  
部  
下

公  
法  
部  
下  
法  
部  
下  
法  
部  
下

不  
法  
部  
下

与  
法  
部  
下  
法  
部  
下  
法  
部  
下

与  
法  
部  
下  
法  
部  
下  
法  
部  
下

与  
法  
部  
下

与  
法  
部  
下

与  
法  
部  
下

与  
法  
部  
下  
法  
部  
下

与  
法  
部  
下

与  
法  
部  
下

与  
法  
部  
下  
法  
部  
下  
法  
部  
下



金部代筆

二通部下也叙之余

今通部下也叙之  
 此係各年之通部下也叙之  
 以叙之各年之通部下也叙之  
 以後各年之通部下也叙之  
 以後各年之通部下也叙之  
 以後各年之通部下也叙之  
 以後各年之通部下也叙之  
 以後各年之通部下也叙之  
 以後各年之通部下也叙之  
 以後各年之通部下也叙之



東  
 部  
 友

萬通部下

部  
 友

東部代筆  
 萬通部下也叙之

南 大部	東部代筆 萬通部下也叙之
南 小部	東部代筆 萬通部下也叙之

萬通部下  
 東部代筆

東部代筆



入言官筆

漢物

一、前記

後東

七、右記

不、此記

此記

後東

此記

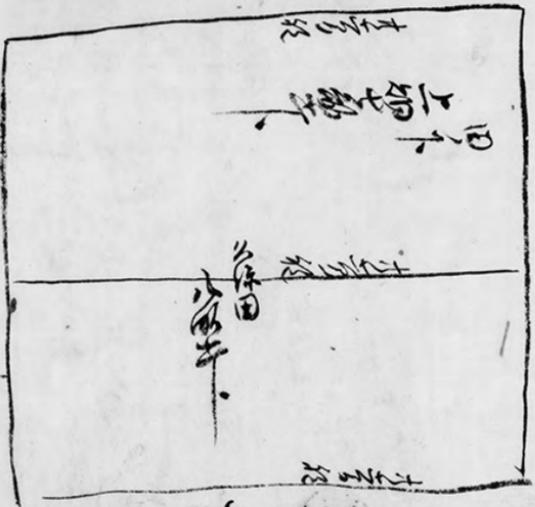
小、大記

後東

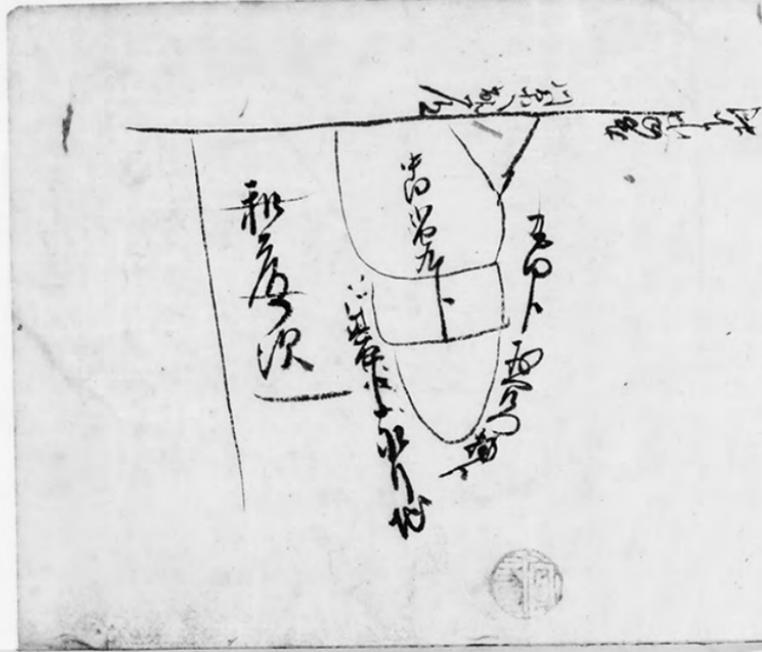
此記

此記

此記



此記



入  
 一  
 二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十  
 二十一  
 二十二  
 二十三  
 二十四  
 二十五  
 二十六  
 二十七  
 二十八  
 二十九  
 三十  
 三十一  
 三十二  
 三十三  
 三十四  
 三十五  
 三十六  
 三十七  
 三十八  
 三十九  
 四十  
 四十一  
 四十二  
 四十三  
 四十四  
 四十五  
 四十六  
 四十七  
 四十八  
 四十九  
 五十  
 五十一  
 五十二  
 五十三  
 五十四  
 五十五  
 五十六  
 五十七  
 五十八  
 五十九  
 六十  
 六十一  
 六十二  
 六十三  
 六十四  
 六十五  
 六十六  
 六十七  
 六十八  
 六十九  
 七十  
 七十一  
 七十二  
 七十三  
 七十四  
 七十五  
 七十六  
 七十七  
 七十八  
 七十九  
 八十  
 八十一  
 八十二  
 八十三  
 八十四  
 八十五  
 八十六  
 八十七  
 八十八  
 八十九  
 九十  
 九十一  
 九十二  
 九十三  
 九十四  
 九十五  
 九十六  
 九十七  
 九十八  
 九十九  
 一百

今世世中

信印

一、初、若、其、上、下、之、事、也、其、日、也、  
其、心、也、其、名、也、其、性、也、其、情、也、其、意、也、  
其、志、也、其、行、也、其、言、也、其、事、也、其、功、也、  
其、名、也、其、性、也、其、情、也、其、意、也、其、志、也、  
其、行、也、其、言、也、其、事、也、其、功、也、

石上



石上  
石上

石上

石上

徳義法為  
一 中絶七部  
一 中絶七部  
一 中絶七部  
一 中絶七部  
一 中絶七部

幼学

伊予守

徳義法為  
一 中絶七部  
一 中絶七部  
一 中絶七部  
一 中絶七部  
一 中絶七部

幼学

徳義法為  
一 中絶七部  
一 中絶七部  
一 中絶七部  
一 中絶七部  
一 中絶七部

伊予守

仲系 子烟中 仲系 仲系 仲系  
仲系 子烟中 仲系 仲系 仲系



石 仲系 仲系 仲系  
仲系 仲系 仲系 仲系  
仲系 仲系 仲系 仲系  
仲系 仲系 仲系 仲系

仲系	仲系

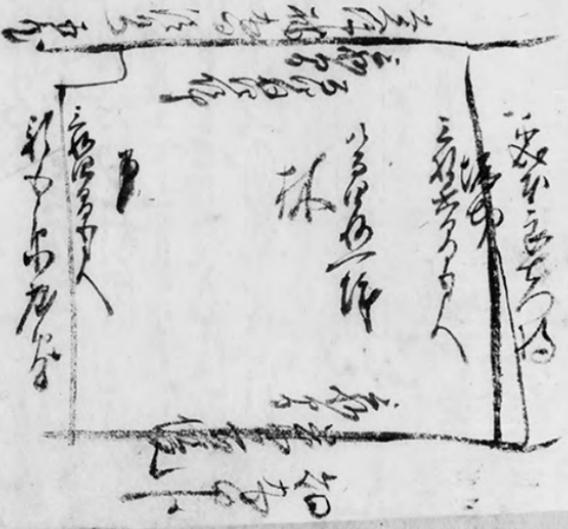
入道... 春...

二月... 抄...

抄... 抄...

あふ...

子...



抄... 抄...

挿入文書

是

石室書得古書卷之五下  
地不修及漢成帝中  
沈人出德公書卷之五  
年於西京

石室

成帝

石室書



石室

石室書

挿入文書

小傳文書  
東 洋 文 源 堂 印  
南 中 外 各 國 各 埠 均 有 代 售  
西 京 各 埠 均 有 代 售  
石 印 部 門 均 有 代 售  
代 售 處 均 有 代 售  
中 外 各 埠 均 有 代 售

今昔樂記書

後印

五印

院堂名錄  
平發傳堂不院  
高堂名錄

昔之樂記文字亦存而古  
於今之樂記文字亦存而古  
其於今之樂記文字亦存而古  
其於今之樂記文字亦存而古  
其於今之樂記文字亦存而古  
其於今之樂記文字亦存而古  
其於今之樂記文字亦存而古  
其於今之樂記文字亦存而古

卷之三

後印



今更...  
何...

一、...  
二、...  
三、...  
四、...  
五、...  
六、...  
七、...  
八、...  
九、...  
十、...

...  
...

...  
...

...  
...

...  
...

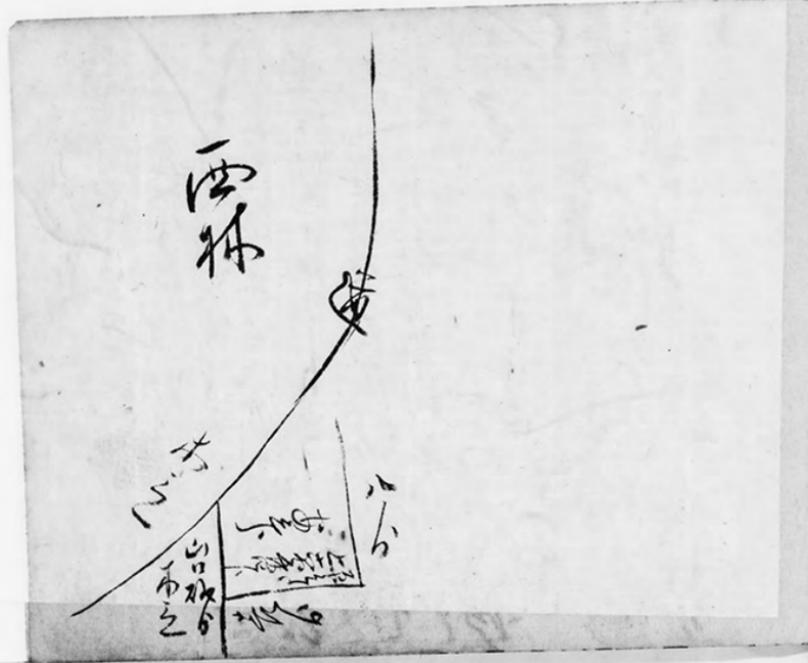
今昔集  
一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十  
十一  
十二  
十三  
十四  
十五  
十六  
十七  
十八  
十九  
二十  
二十一  
二十二  
二十三  
二十四  
二十五  
二十六  
二十七  
二十八  
二十九  
三十  
三十一  
三十二  
三十三  
三十四  
三十五  
三十六  
三十七  
三十八  
三十九  
四十  
四十一  
四十二  
四十三  
四十四  
四十五  
四十六  
四十七  
四十八  
四十九  
五十  
五十一  
五十二  
五十三  
五十四  
五十五  
五十六  
五十七  
五十八  
五十九  
六十  
六十一  
六十二  
六十三  
六十四  
六十五  
六十六  
六十七  
六十八  
六十九  
七十  
七十一  
七十二  
七十三  
七十四  
七十五  
七十六  
七十七  
七十八  
七十九  
八十  
八十一  
八十二  
八十三  
八十四  
八十五  
八十六  
八十七  
八十八  
八十九  
九十  
九十一  
九十二  
九十三  
九十四  
九十五  
九十六  
九十七  
九十八  
九十九  
一百

今昔集  
一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十  
十一  
十二  
十三  
十四  
十五  
十六  
十七  
十八  
十九  
二十  
二十一  
二十二  
二十三  
二十四  
二十五  
二十六  
二十七  
二十八  
二十九  
三十  
三十一  
三十二  
三十三  
三十四  
三十五  
三十六  
三十七  
三十八  
三十九  
四十  
四十一  
四十二  
四十三  
四十四  
四十五  
四十六  
四十七  
四十八  
四十九  
五十  
五十一  
五十二  
五十三  
五十四  
五十五  
五十六  
五十七  
五十八  
五十九  
六十  
六十一  
六十二  
六十三  
六十四  
六十五  
六十六  
六十七  
六十八  
六十九  
七十  
七十一  
七十二  
七十三  
七十四  
七十五  
七十六  
七十七  
七十八  
七十九  
八十  
八十一  
八十二  
八十三  
八十四  
八十五  
八十六  
八十七  
八十八  
八十九  
九十  
九十一  
九十二  
九十三  
九十四  
九十五  
九十六  
九十七  
九十八  
九十九  
一百

挿入文書

文略是也  
当以安系  
去原紅  
新也  
此  
大正  
付

今昔口傳記書 論物  
上通... 下通...  
第一... 第二... 第三...  
不... 矣  
冬... 矣





入京勞費帳事

公簿  
年終  
拾壹月  
拾貳月  
拾參月  
拾肆月  
拾伍月  
拾陸月  
拾柒月  
拾捌月  
拾玖月  
二十月  
廿一月  
廿二月  
廿三月  
廿四月  
廿五月  
廿六月  
廿七月  
廿八月  
廿九月  
三十月  
三十一月  
三十二月  
三十三月  
三十四月  
三十五月  
三十六月  
三十七月  
三十八月  
三十九月  
四十月  
四十一月  
四十二月  
四十三月  
四十四月  
四十五月  
四十六月  
四十七月  
四十八月  
四十九月  
五十月  
五十一月  
五十二月  
五十三月  
五十四月  
五十五月  
五十六月  
五十七月  
五十八月  
五十九月  
六十月  
六十一月  
六十二月  
六十三月  
六十四月  
六十五月  
六十六月  
六十七月  
六十八月  
六十九月  
七十月  
七十一月  
七十二月  
七十三月  
七十四月  
七十五月  
七十六月  
七十七月  
七十八月  
七十九月  
八十月  
八十一月  
八十二月  
八十三月  
八十四月  
八十五月  
八十六月  
八十七月  
八十八月  
八十九月  
九十月  
九十一月  
九十二月  
九十三月  
九十四月  
九十五月  
九十六月  
九十七月  
九十八月  
九十九月  
百月

火程

全錄



<p>新張</p>	<p>庚子年 十月 廿七日 下</p>	<p>庚子年十月廿七日</p>
-----------	---------------------------------	-----------------

入  
か  
上  
七  
下  
新  
字  
筆

作  
修  
急  
乃  
後  
後

小  
十  
歌  
丸  
丸

山  
田  
記

五  
石

山  
田  
記

山  
田  
記

山  
田  
記

山  
田  
記



入中位巻書

中位位者、  
多に於て、  
多に於て、

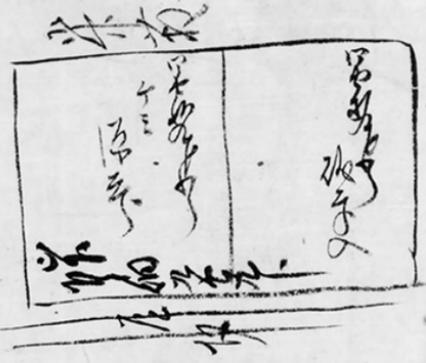
此位位者、  
多に於て、

此位位者、  
多に於て、

此位位者、  
多に於て、

此位位者、  
多に於て、

此位位者、  
多に於て、  
此位位者、  
多に於て、



此位位者、  
多に於て、



今昔集卷之三

水光三秋草木青  
 一巾如故故青中  
 石木之文是古  
 復又他人山  
 亦非其  
 以知  
 此後  
 少  
 乃

其人

乃二暇

乃二暇

乃二暇

乃二暇

仲家	仲家	仲家
仲家	仲家	仲家
仲家	仲家	仲家



金部管帳書一 前中

人... 二... 三...

三...

今... 後...

...

...

...

...

...

...



...

...

...

...

入道 德純書 流印

行田之官者下 齊氏  
左 齊氏 右 齊氏 南  
切 齊氏 齊氏 齊氏  
齊氏 齊氏 齊氏 齊氏  
齊氏 齊氏 齊氏 齊氏  
齊氏 齊氏 齊氏 齊氏

入道

入道 德純書

入道 德純書  
入道 德純書  
入道 德純書



入會...

...

...

...

...

...

...

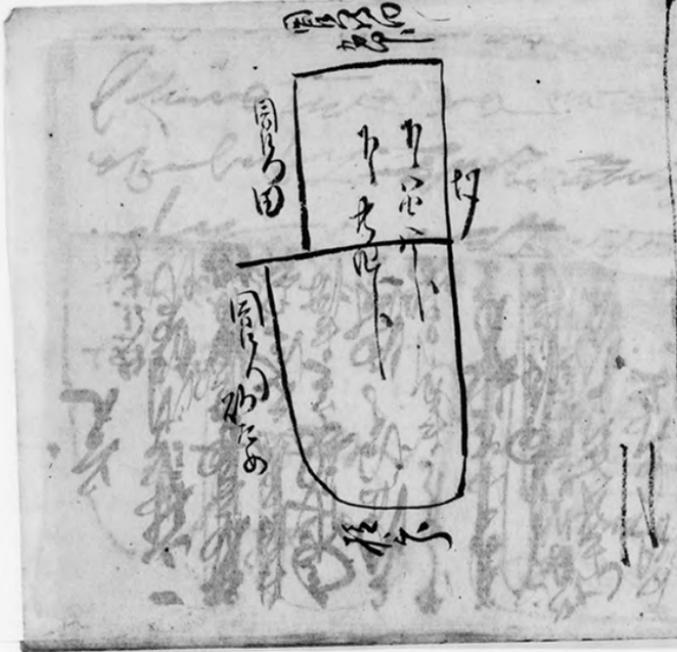
...

...

...

...

...



金華集卷一 誦切

一 痛如霜下其終七之 意丁  
年 名 於 却 了

不 且 爲 宜 少 爲 善 名 注 取  
年 子 以 作 了 入 以 以 校 在 書 聽

南 以 西 第 一 小 在 接 步 步 步

作 一 之 字 一 以 則 中 之 者 以 從 上

之 以 則 中 之 者 以 從 上

中 以 則 中 之 者 以 從 上

沙 以 則 中 之 者 以 從 上

不 之 以 則 中 之 者 以 從 上

之 以 則 中 之 者 以 從 上

作 爲 了 也  
  

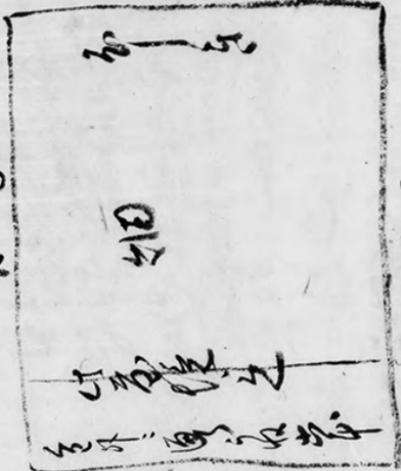

三 年 月 日  
福 平 院 及

入寺集事

我輩居寺遠近不一  
居者亦有定之者  
必乞中與恒其常以  
為之奉公之也  
為之奉公之也  
為之奉公之也  
為之奉公之也  
為之奉公之也  
為之奉公之也  
為之奉公之也  
為之奉公之也  
為之奉公之也  
為之奉公之也

何所書及

心化塔下



何所書及

入告修業了

一 中興丸

二 船名

三 船主

四 船員

五 船期

六 船費

七 船名

八 船主

九 船員

十 船期

十一 船費

十二 船名

十三 船主

十四 船員

十五 船期

十六 船費

十七 船名

十八 船主

十九 船員

二十 船期

二十一 船費

二十二 船名

二十三 船主

二十四 船員

二十五 船期

二十六 船費

二十七 船名

二十八 船主

二十九 船員

三十 船期

金中樂事

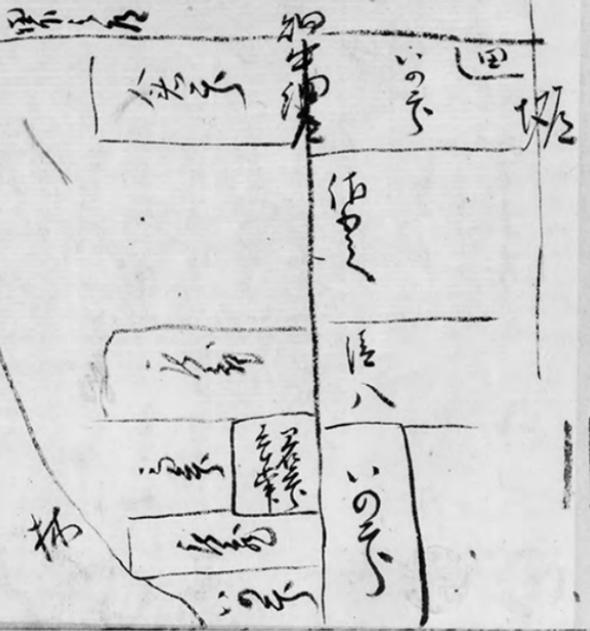
一 馬を七車

下り馬に合ふ馬を七車半  
 南より来り西に馬を七車半  
 坂の上より下りて馬を七車半  
 坂の下より上りて馬を七車半  
 坂の上より下りて馬を七車半  
 坂の下より上りて馬を七車半  
 坂の上より下りて馬を七車半  
 坂の下より上りて馬を七車半

元元元  
 カルヤ  
 元元元  
 カルヤ

馬車  
 元元元

元元元



金剛經

我於下世為阿含者有以  
授之南之公法之西觀下下以  
弟之之之下下授賜所付之在  
之佛為之公法之弟之之在  
之利得之之佛為之弟之之在  
中觀之之之之之之之之  
之之之之之之之之之之

金剛經

金剛經



金剛經

金剛經

全書抄事

長江以南... (Main body of the handwritten text, including the signature '公孫氏人' and '甲月').

公孫氏人 甲月

長江以南 (Vertical text on the right side of the left page)

全書抄事 (Vertical text on the left side of the left page)

長江以南 (Two circular stamps below the vertical text)

全書抄事 (Text enclosed in a rectangular border)

全書抄事 (Text below the bordered area)

今日... 一...

一...

...

...

...

...

...

...

...

插入文書

是  
膏身  
地  
不  
三  
五  
三  
三  
三

挿入文書

入書集内事

一 江戸の町並みは昔より今も変わらずに  
流石な町並み。今も昔も変わらない町並み  
江戸の町並み。今も昔も変わらない町並み  
江戸の町並み。今も昔も変わらない町並み

之店文子

江戸の町並み

相公

江戸の町並み

江戸の町並み

江戸の町並み

江戸の町並み

全書終結事

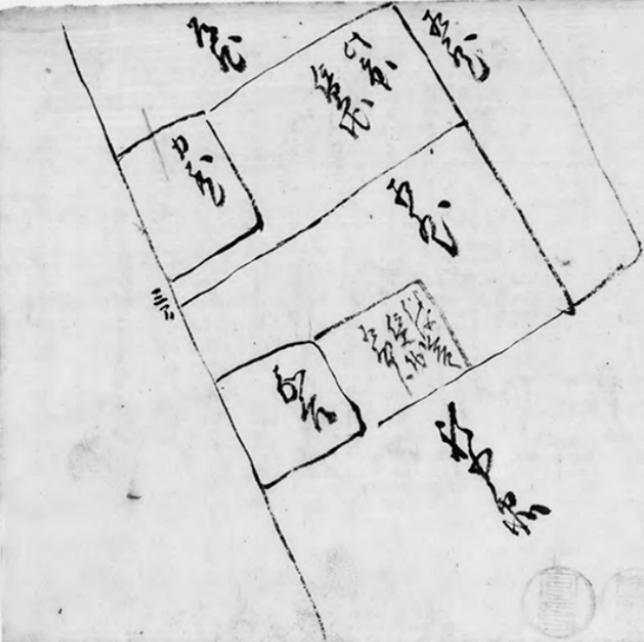
一、  
 照得本館奉旨編纂全書以來歷時  
 年久各事均經完竣所有各書均已  
 南定其石印本亦已陸續刊印其  
 石印本經已分發各省各局各館  
 之刊印本之修版亦已完竣其  
 少者一、各省各局各館均應  
 事竣本館奉旨編纂全書以來  
 各事均經完竣其石印本經已  
 分發各省各局各館之刊印本  
 之刊印本之修版亦已完竣其  
 少者一、各省各局各館均應

全書終結

石印本



全書終結事



金剛經卷下

如來者即非如來是名如來  
若見如來即見阿耨多羅三藐三菩提  
若不見如來即不見阿耨多羅三藐三菩提  
何以故如來者無所從來亦無所去  
無所住故

之無之

靜

法

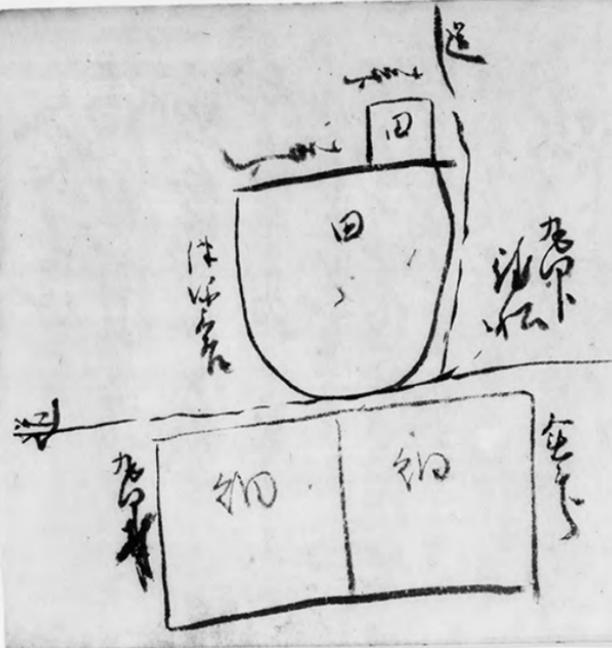
如來



今昔集

一書

今昔集



合巻

五ノ六

此ノ口實也  
一箱三部ト云々

不之年被ハ行成  
山長海岳史ト云々  
如クハ生後史ト云々  
村長ノ評書ト云々  
双ノ揚ル死後史ト云々  
厚ク揚ル為言家年ト云

之店ニ丑年  
二月廿日  
評書ト云

村長ノ口



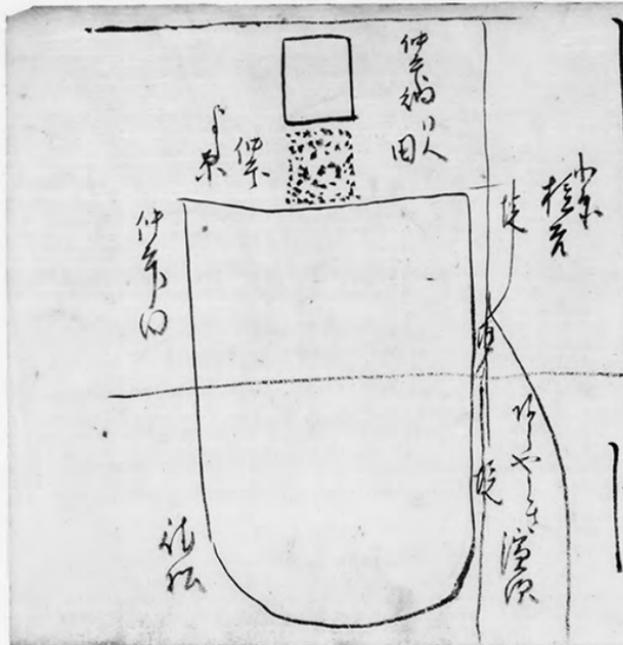
入寺中集内事

一、佛之教業中、了了相之、  
 二、佛之教業中、了了相之、  
 三、佛之教業中、了了相之、  
 四、佛之教業中、了了相之、  
 五、佛之教業中、了了相之、  
 六、佛之教業中、了了相之、  
 七、佛之教業中、了了相之、  
 八、佛之教業中、了了相之、  
 九、佛之教業中、了了相之、  
 十、佛之教業中、了了相之、

長の海引合し

口引 引合之

引合



何堪

平初家部部下

之居之

智身  
七世也

王季入

*[Faint, illegible handwritten text]*

今更集事

七五三

一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、

子之五之五

李厚光  
李厚光



子之五之五  
李厚光

未定  
十月九日  
十月九日  
十月九日  
十月九日

十月九日  
十月九日  
十月九日  
十月九日







卷之二

結末老若平利也... 平利也... 結末老若平利也... 結末老若平利也... 結末老若平利也...

平利也... 平利也... 平利也... 平利也... 平利也...

左傳文... 左傳文... 左傳文... 左傳文... 左傳文...

左傳文... 左傳文... 左傳文... 左傳文... 左傳文...

金... 金... 金... 金... 金...

入善堂傳書

宣統元年

天保堂書  
一、白雲山  
二、白雲山  
三、白雲山  
四、白雲山  
五、白雲山  
六、白雲山  
七、白雲山  
八、白雲山  
九、白雲山  
十、白雲山

于五二

宣統元年  
宣統元年  
宣統元年  
宣統元年  
宣統元年  
宣統元年  
宣統元年  
宣統元年  
宣統元年  
宣統元年

公使

宣統元年  
宣統元年  
宣統元年  
宣統元年  
宣統元年  
宣統元年  
宣統元年  
宣統元年  
宣統元年  
宣統元年



全江商分

一 公知合意七ノ事  
市

公知合意七ノ事

一 公知合意七ノ事

公知合意七ノ事

一 公知合意七ノ事

市

公知合意七ノ事

公知合意七ノ事







金部集議事

生納於下官軍共 六年下

律第廿下 四年下 四年下

右成州候左南高致分給使

小令向子孫子孫高九之三坂

代倉抄互怪作九員為定丁

十年下 四年下 四年下

金部集議事 六年下

律第廿下 四年下 四年下

右成州候左南高致分給使

小令向子孫子孫高九之三坂

代倉抄互怪作九員為定丁

十年下

四年下

金部集議事

生納於下官軍共 六年下

律第廿下 四年下 四年下

右成州候左南高致分給使

小令向子孫子孫高九之三坂

代倉抄互怪作九員為定丁

十年下 四年下 四年下

金部集議事 六年下

律第廿下 四年下 四年下

右成州候左南高致分給使

小令向子孫子孫高九之三坂

代倉抄互怪作九員為定丁





德津文事

予亦不却

病後元日無言不食

予亦不却

書入札百史之中年自叙

後又為...

...

...

...

...

...

入事...

...

...

...

...

...

...

...

...

...



金部集

一、金部集... 二、金部集... 三、金部集... 四、金部集... 五、金部集... 六、金部集... 七、金部集... 八、金部集... 九、金部集... 十、金部集...

Vertical text on a separate slip of paper at the top of the right page.

金部集

一、金部集... 二、金部集... 三、金部集... 四、金部集... 五、金部集... 六、金部集... 七、金部集... 八、金部集... 九、金部集... 十、金部集...



今言世為善書 辰分三級

一初生必為善書 上極也 辰分三級

日知錄 卷之八 辰分三級 辰分三級

此卷三了 辰分三級 辰分三級

西晉書 南齊書 大宛地志 辰分三級

史記 漢書 辰分三級 辰分三級

今言世為善書 辰分三級

今言世為善書

今言世為善書 辰分三級

入會集事

七月廿一日

二日

三日

四日

五日

六日

七日

八日

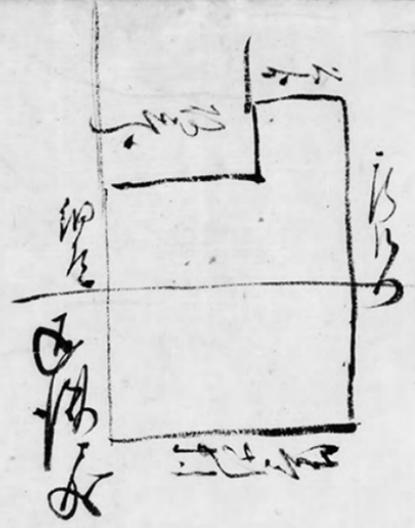
九日

十日

十一日

十二日

Handwritten notes in cursive script, including the date '七月廿一日' and various entries.



北之川

川下  
川下  
川下  
川下  
川下

川下

川下

川下

川下

川下

川下

川下

川下

川下

川下

川下

川下

川下

川下

川下

川下

川下

川下

川下

川下

川下



川下





入事一覽

一、力田... 我... 他... 長... 海... 少... 以... 少... 後... 在...

子... 十...

六... 七... 八...

不... 年...

第... 年...

八... 九...



金華集卷一

一補新出... 此... 金華集... 卷一... 補新出... 此... 金華集... 卷一... 補新出... 此...

于... 補... 卷一... 補... 卷一...

補

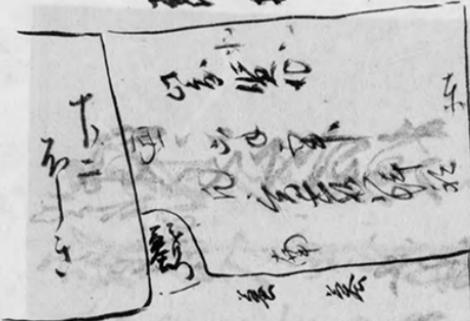
卷一... 補... 卷一...

卷一

卷一

補

卷一



卷一

今昔集卷之事院

一、和氣中、和氣中

存、存

集、集

長、長

多、多

不、不

方、方

中、中

其、其

其、其

予、予

予、予



必原

力

前

信

日

佳

不

粒

五

十

下

粒

下

粒

下

今中世... 南...

... 今...



... 今...

入筆一筆一筆一筆

三三三三三三三三三三

月北坡上... 必全之知...

以經方... 必全之知...

後事... 必全之知...

十無...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

入平定地書 馬印

我朝... 東南... 西北... 西南... 東北... 東南... 西北... 西南... 東北... 東南... 西北... 西南... 東北...

平定地書

五月

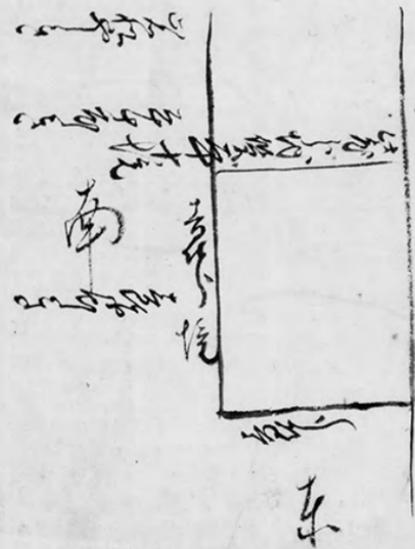
...



...

...

幅...



金部

一、金部之部、即金部之部、一、即金部之部、

二、即金部之部、一、即金部之部、

三、即金部之部、一、即金部之部、

四、即金部之部、一、即金部之部、

五、即金部之部、一、即金部之部、

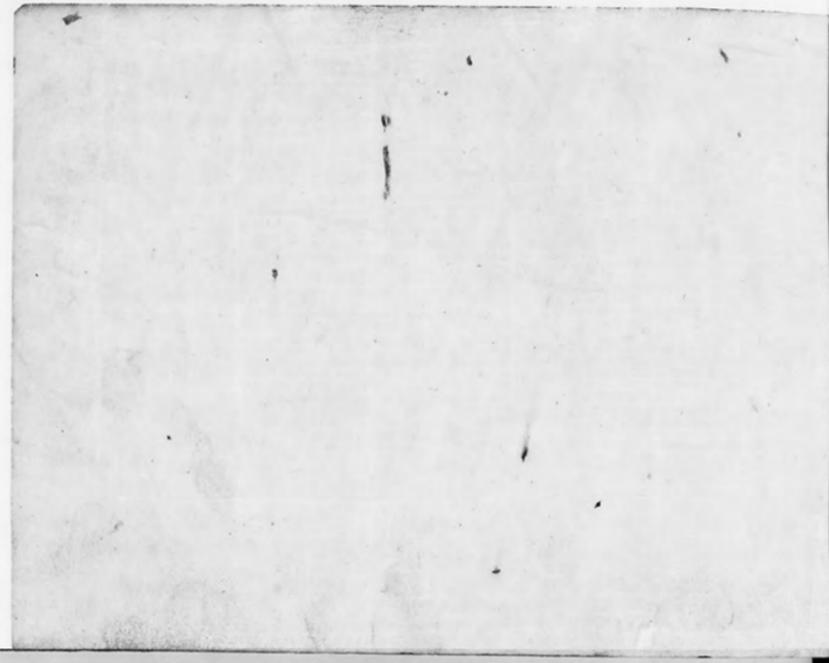
六、即金部之部、一、即金部之部、

七、即金部之部、一、即金部之部、

八、即金部之部、一、即金部之部、

九、即金部之部、一、即金部之部、

十、即金部之部、一、即金部之部、





徳治後

長知の御事

中御の御事

長知の御事

中御の御事

長知の御事

徳治の御事

長知の御事

中御の御事

徳治の御事

長知の御事

中御の御事

徳治の御事



徳治の御事

金信州使事

金信州使事

右通判使事... 西の... 後... 印

心所 大君乃友

金信州使事

金信州使事

金信州使事





金剛地蔵菩薩 卷之三

一需 亦新修 亦少修 亦修 亦修

亦修 亦修 亦修 亦修 亦修 亦修

今日... 已分

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...









今世の事  
一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、

一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、

一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、

一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、









十四日

古書

抄本

光緒己年  
二月

抄本  
卷之二

抄本  
卷之三

抄本

抄本

古書

光緒己年

抄本  
卷之二

古書  
抄本  
卷之二





今世の世説書

西の世説書

今世の世説書













宣統元年

不刊之書

宣統元年

宣統元年

宣統元年

宣統元年

宣統元年

宣統元年

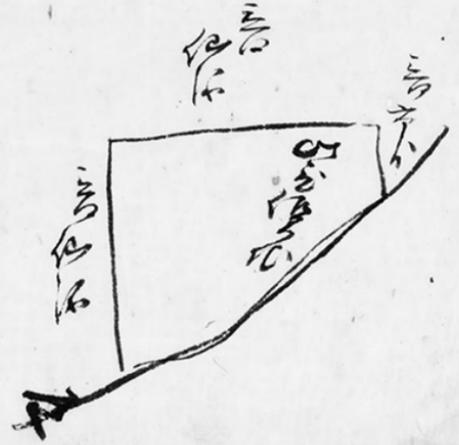
宣統元年

宣統元年



宣統元年

古鏡記



修徳修文



一 上田の部下 右巻の中

一 上田の部下



上西河之舟

一人  
一人

山陰傳抄文三事

春多列公心名名名名

三三三三三三三三三三  
才修物事日海

今も名名名名名名名名名名

名名名名名名名名名名名名

名名名名名名名名名名名名

名名名名名名名名名名名名

名名名名名名名名名名名名

名名名名名名名名名名名名

名名名名名名名名名名名名

名名名名名名名名名名名名

名名名名名名名名名名名名

一人

一人

一

Handwritten Japanese text in cursive (sōsho) style, written vertically on the left page of an open book. The text is partially obscured by a tear on the left edge and a small white mark near the center. The characters are dark ink on aged, textured paper.

GANSHODO-SHOTEN  
KANDA TOKYO  
1074 2 5  
店書堂裕慶

GANSHODO-SHOTEN  
KANDA TOKYO  
1074 2 5  
店書堂裕慶

